EBMとは

• Evidence Based Medicine (EBM; 科学的根拠に基づいた医療)とは、個々の患者のケアについての意志決定の場で、現在ある最良の根拠を良心的に、明らかに理解したうえで慎重に用いることである(Sackett DL, 1996)。

EBMの実践手順

- 目の前の患者に関して臨床上の疑問点を抽出する。
- 疑問点に関する文献を検索する。
- 得られた文献の妥当性を自分自身で評価する。
- 文献の結果を目の前の患者に適用する。
- 自らの医療を評価する。

AHCPRによるエビデンスの水準

I a: ランダム化対照試験 (RCT)のメタアナリシスから得られた根拠

Ib: 少なくとも一つの、RCTから得られた根拠

II a: 少なくとも一つの、よくデザインされた非RCTから得られた根拠

Ⅱb: 少なくとも一つの、よくデザインされたその他の準実験的研究からの根拠

Ⅲ: 比較研究、相関研究、ケースコントロール研究などの、よくデザインされた非実験的記述研究からの根拠

IV: 専門家委員会、代表的権威者の意見や臨床経験からの根拠

AHCPR: Agency of Health Care Policy and Research (1993)

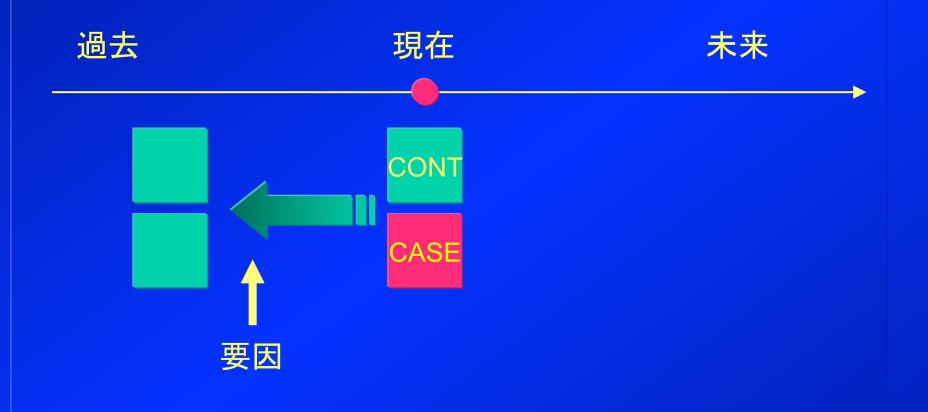
IV: 意見·臨床経験

- 教科書に記載されているが、実際には仮説の ままで証明がなされていないもの。
- ケースレポート。

Ⅲ: 非実験的記述研究

- ケースコントロール研究:症例(ケース)と対照 (コントロール)を明確にし、何が要因かをさか のぼって見直すもの。
- ・ 横断的研究: 単一の時点か期間に限定され た母集団を観察。曝露と転帰は同時に決定さ れる。
- ・ 縦断的研究(コホート研究): 関心ある要因に 曝露した集団と曝露していない集団を同定し、 追跡するもの。

ケースコントロール研究(症例対照研究)



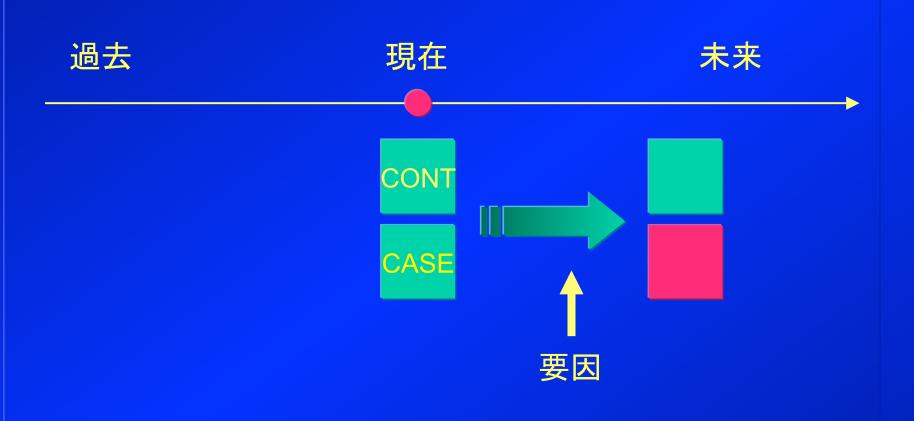
FUMI'S DENTAL OFFICE

横断研究

未来 過去 現在 CONT CASE 要因

FUMI'S DENTAL OFFICE

縦断研究(コホート研究)



Ⅱ a~b:良くデザインされた非RCT

- Ia~Ⅱb介入研究:要因に介入することで効果が得られるかを調べるもの。
- Ⅱb:対照群はないものの、よく考えられた研究方法。
- Ⅱa:対照群はあるが、ランダムではないため に最初から何らかの差がある可能性がある。

温泉水を飲むと、血液がサラサラになります。



毛細血管 血液ドロドロ



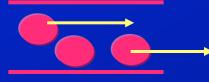
温泉水 1日500ml





1週間継続

毛細血管血液サラサラ



実験群 ※この実験群は、対照群と差がない

毛細血管血液ドロドロ



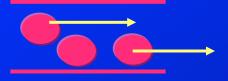






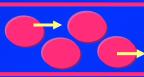
1週間継続

毛細血管血液サラサラ



対照群

毛細血管 血液ドロドロ





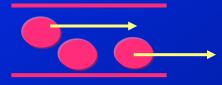
普通の水



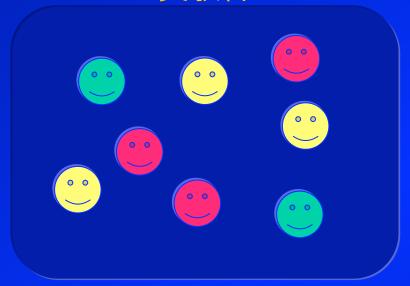


1週間継続

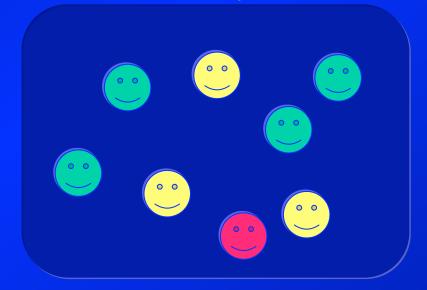
毛細血管血液サラサラ



実験群



対照群

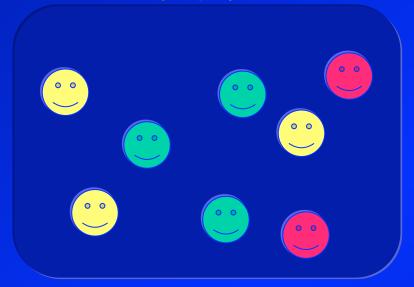


非ランダム化 実験群と対照群はランダムに選択されていない。 この場合、実験群と対照群は、最初から差がある。

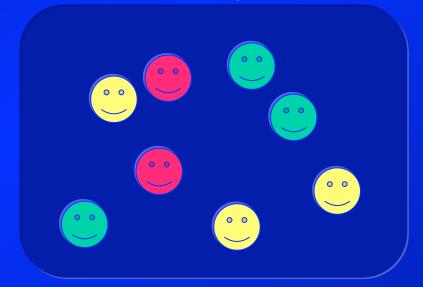
I a~b:良くデザインされたRCT

- ・無作為化対照試験(Randomised Controlled Trial):患者のグループを無作為に実験群と対照群に振り分ける。これらの群について関心ある変量や転帰を追跡する。
- ・メタ分析:概説のひとつで、複数の研究結果のオッズ比などを併合するために用いる量的手法。

実験群



対照群



ランダム化 実験群と対照群をランダムに選択。 両群の構成に差はない。

最後にEBMの補完としてのNBM

- Narrative Based Medicine: (患者一人一人の)物語に 基づいた医学
- 個人の病状には複雑な要因が絡んでおり、画一的な答えが存在するとは限らない。
- 患者独自の物語を聞くことにより、その患者に最も適したアプローチが成されることを目指す。
- 患者の物語を大切にすることは医療の原点であり、 患者別個の物語を尊重し想像できる能力が求められる。
- EBM とNBMは対立するものではなく、補い合うものである。